

暑中お見舞い申し上げます。梅雨が終わると同時に、連日暑い日が続いていますが、皆様にはお変わりございませんか。おかげさまで、メンバー一同暑さに負けず元気に過ごしております。

夏の風物詩といえば花火ですが、大きな打ち上げ花火も良いのですが、家族で囲む線香花火も風情があり良いものです。もう消える、と思うと、再び細い光が飛び散り、やがて黒く固まった火薬がポトリと落ちるその瞬間が何とも言えず侘びしく、優しいものです。

この線香花火も日本の最後の職人が廃業に追い込まれ、現在では、全て中国製らしいです。そういえば、昔と火花の趣がすこし違って感じられます。すばらしい技術が採算という理由でだんだん無くなっていくのは本当に寂しいかぎりです。

畳、よもやま話

今年猛暑ですね。子供の頃は、大掃除が町会ごとに行っていました。その日は近所中、朝早くから、買って貰った新しい草履を履いて、家族総出で、掃除にかかります。まず畳を上げて、戸外に出し、夏日に干してから、竹の叩き棒でパンパンと叩いて埃とダニをたたき出し、その間に、家の内の掃除をします。畳の下の板も簡単に外せるようになっていて床下に潜って、クモの巣を取ったり、薬を撒いたり、兄弟が多かったので、ワイワイ、ガヤガヤとお祭り気分でした。昔の畳は今より随分重かったように思います。近所の友達や、兄弟に負けまいと、ふらふらしながらでも一人で持ち出せるようになったのは、何歳くらいだったでしょうか。休憩に、みんなで食べた、かき氷や西瓜の美味しかったことや、隣近所からアイスキャンデーの差し入れがあったりして、平和な時代の楽しい夏の思い出です。

そこで今月は畳の寸法に付いて話します。最近の家は畳の部屋が少なくなってきましたが、やはり、ごろりと横に成った時の感触は、やっぱり最高ですね。日本に生まれて良かったと思います。さて、昔の関西地方の畳は、今の畳より一回り半大きく、重かったのです。モジュールと言っ言葉をご存知ですか。先ず、その説明から始めます。皆さんも自分の家の平面図を書く時に、白紙の紙より方眼紙をご用意されますね。そして、二枚の正長方形を畳一枚の大きさに見たてて、部屋割りを書いていかれると思います。方眼紙の一桁の大きさを、1グリッドと呼びます。即ち、半間の柱の芯々寸法です。最近では91cm(3尺)で組

み合わせる間取りが多く、柱の芯々寸法が3尺で、柱の太さ10・5cm角のとき、内寸は2尺6寸5分約80cmです。畳の標準寸法は80cm x 171cmで、江戸間畳(関東間)といえます。今の家は殆どがこの寸法です。これで間取りを計画しますと、4グリッドとか、6グリッドとか、部屋の大きさが変わることになり、畳を切つて寸法を合わせるので、6畳間の畳は8畳には嵌りません。(図で書かないとややこしいでしょうか?)ところが、昔の大阪は、畳と家具は同じ扱いで、引越先の家に畳も運んだそうです。そのため、畳に合わせて柱芯の寸法を決め、グリッドを変えていきますので、8畳も6畳の部屋と同じ畳が使えます。寸法は3尺1寸5分(95・4cm) x 6尺3寸(190・9cm)です。この寸法の畳を六枚並べて6畳とし、その外に柱を立てて、6畳の柱芯々寸法にしています。大工さんの墨出しは、江戸間に比べてややこしいですが、梁桁(横架材)用木材の既製品寸法が、ぎりぎりまで使えて切り屑もあまり出ません。昔の大阪の合理性から生まれた計算でしょう。部屋の大きさを比べて、6畳の、長辺、2間で28・4cm、短辺で24cm長く、面積で1・7m²違ってきます。これを関西間畳といえます。このほかに、関東と関西では大工仕事でいろいろと違うところがあります。総じて関西のほうが技術的に進んでいると、此方の大工は自負していたようです。今は東京一極集中で建築関係の情報は関東が格段上ですが、京都、奈良、大阪の「上方関西」の伝統はやはり負けてはいないと思います。具体的な違いに付いては別の機会にご紹介します。それでは今月はこの辺で終わります。皆さま暑さ厳しい折お体ご自愛下さい。

(猪谷・記)

前回のセミナー報告

6月18日、大阪市立住まいミュージアムに見学に行きました。「住まい方を見直してみよう、住まいのミュージアム見学会」と名をうちました。ここの目玉はなんとと言っても近世大坂の町屋の一街区を実物大で作ってあることです。来館者自らが体感することによって納得するという新しい展示を目指し、つくられた施設です。もちろんその当時の小物などのしつらえもあります。町屋を上から眺めた後、大坂町3丁目木戸前に立ちました。町の入り口です。木戸門は日の出と共に開けられ、夜10時ごろに締められたようです。いよいよ天保初年の大坂の町角にタイムスリップです。当日はミュージアムの案内人がうまくこまごまと詳細にわたって説明していただき、私にとっては以前一人で訪

れた時には気づかなかつたことを楽しく勉強し、予定の時間を越えて見学をさせていただきました。その後館内のセミナールームで大坂の畳割りや町屋の職人(建築に関する)の話などメンバー二人が簡単にお話し、そのテーマで添ってお茶を飲みながら座談会をさせていただきました。(富本・記)



「自然住宅の夏」

3年前に竣工した奈良市内のY邸。竣工当時少なかった緑もおい茂り、建物のシルエットにうまく溶け込んでいます。家の南～西面を取り囲むように配置された、家庭菜園や庭に植えられたさまざまな樹や草花に誘われてやってくる鳥や虫達と、小さいながらも上手く共生する環境をつくっています。

さっそく扇風機もクーラーもなしで過ごす「奈良の夏」を体感しに伺いました(Y邸にあるクーラーは来客の為のものだそうです)。丁度、最高気温35 の日中ですので最も厳しい条件下でしたが、建物を取り囲む緑が風を呼び込み、家の中を通り抜ける風が快いばかりか、柔らかい光と陰の移ろいや音、日に焼けて落ち着いた室内の木と塗り壁の空間が、なんだか懐かしい雰囲気を感じ出して落ち着くのです。

竣工後毎月の光熱費の記録をお願いしているのですが、年間を通しての光熱費の安さは、建物のコンセプトとYさんご家族の暮らしが上手にシンクロしていることをおもわせます。ただ、夏場は水やりで少し水道代がかかっているようですので、非常時の用水確保をかねて、雨水利用のタンクをDIYで設置してみてもとアドバイスし



て帰ってきました。

どうやら、近くに住んでいる野良猫も気に入っているようで、毎朝どこからともなくやってきて、のんびりと庭先で昼寝をしているのだとか。

このY邸。自然住宅での暮らしは省エネルギーにつながるという証明のような一例ですが、これもまた、暮らしの中から少しづつ手を加えながら、Yさんのライフスタイルにふさわしい「すまい」となっている事によるものと感じました。

成否が問われる10年後はどうなっているだろうとの思いを抱いて、Y邸を後にしました。(Yさん、いただいた採れたてのブルーベリー。おいしかったです。)

(坂田・記)

ニュース

「アスベスト問題」

石綿(アスベスト)を原因とする健康被害の問題が連日の様に新聞やテレビをにぎわしています。アスベストにもいろいろ種類があり、その中でアモサイト(茶石綿)、クロシドライト(青石綿)は有害性が高い事から平成7年4月に法的に禁止になりました。

更に、一部の石綿製品に付いては平成16年10月1日より輸入、製造、使用が禁止になりました。この様な背景の中、今後も使用される石綿製品の的確な管理と、過去に使用された建築物の解体改修における石綿製品の除去などの作業の厳格な管理が必要です。アスベストを含む建材かどうか判断するのは非常に難しく、含有率が1定以下の建材は表示されていないケースもあります。最低限知っておくべき事について国立保健医療科学院建築衛生部長、池田氏の指摘を日経アーキテクトより紹介します。

- 1、危険なのは呼吸器系からの吸入。
- 2、そっとしておけばリスクは少ない。
- 3、覆い隠す方がよい場合もある。
- 4、気づかず吸っている可能性もある。

むやみに素人判断で心配せず、素人工事で慌ててはがす様な事をしないよう冷静な判断が必要です。

(松本・記)

ひとつ

毎日の暑さにうんざりされていませんか。地球の温暖化がさわがれはじめて、久しいですが、いったいこの状況がいつと、気温はどれくらい上がるのだろうかと思ひ少し調べてみました。

それによると、2100年までに最大で平均気温が3.5上昇すると予測されているみたいです。3.5 ぐらい大したことはないと思うかもしれませんが、実は大変なことです。たとえば、2 平均気温が上昇するとすれば、今の東京が熊本、鹿児島が奄美大島くらいの緯度になる様な状態ということらしいです。

また気温の上昇が地球の過去にないスピードで急激に暖かくなっている様で、これは人間活動が大きく原因していると思われています。

私達が便利さや、快適さを求めすぎたのが一つの原因かもしれません。我々の造っている住宅でも過剰な設備が目立ち、設備の充実が、住みやすさだと勘違いしているところがあります。本当に大切なものが何かをもう一度考えてみたいと思います。

(堀・記)

ネットワーク7本の木 メンバー

【設計者】

坂田泰志 (有)新・すまいシステム	大阪市	06-4800-8686
富本 亨 アトラス(株)建築設計事務所	大阪市	06-6226-0157
松本元子 松本建築事務所	奈良市	0742-70-3848

【施工者】

猪谷勇三 株式会社 猪谷工務店	大阪市	06-6956-4639
堀 勝美 堀 建設 株式会社	豊中市	06-6846-7400

ホームページに活動の案内や報告を掲載していますので、是非ご覧ください <http://www.7trees.net/>